

ただお課長とみてみよう！

忠岡町の財政状況 (令和5年度決算)

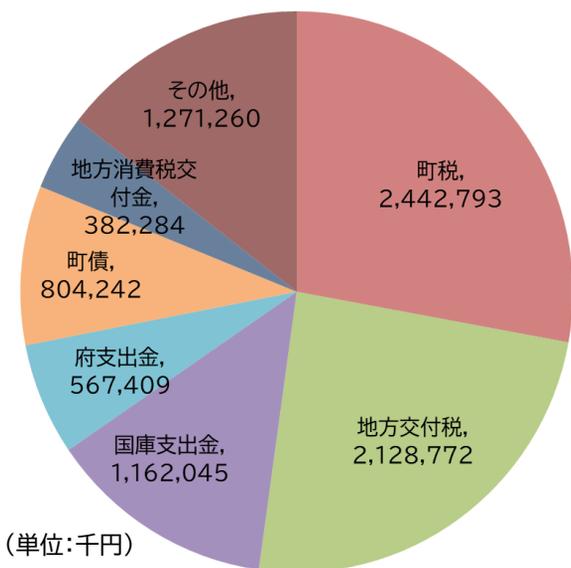


令和6年12月
忠岡町役場経営戦略課

1.令和5年度の決算

①忠岡町の収入(歳入)をみてみよう!(一般会計)

収入(歳入)の合計
87億5,880万5千円



(単位:千円)

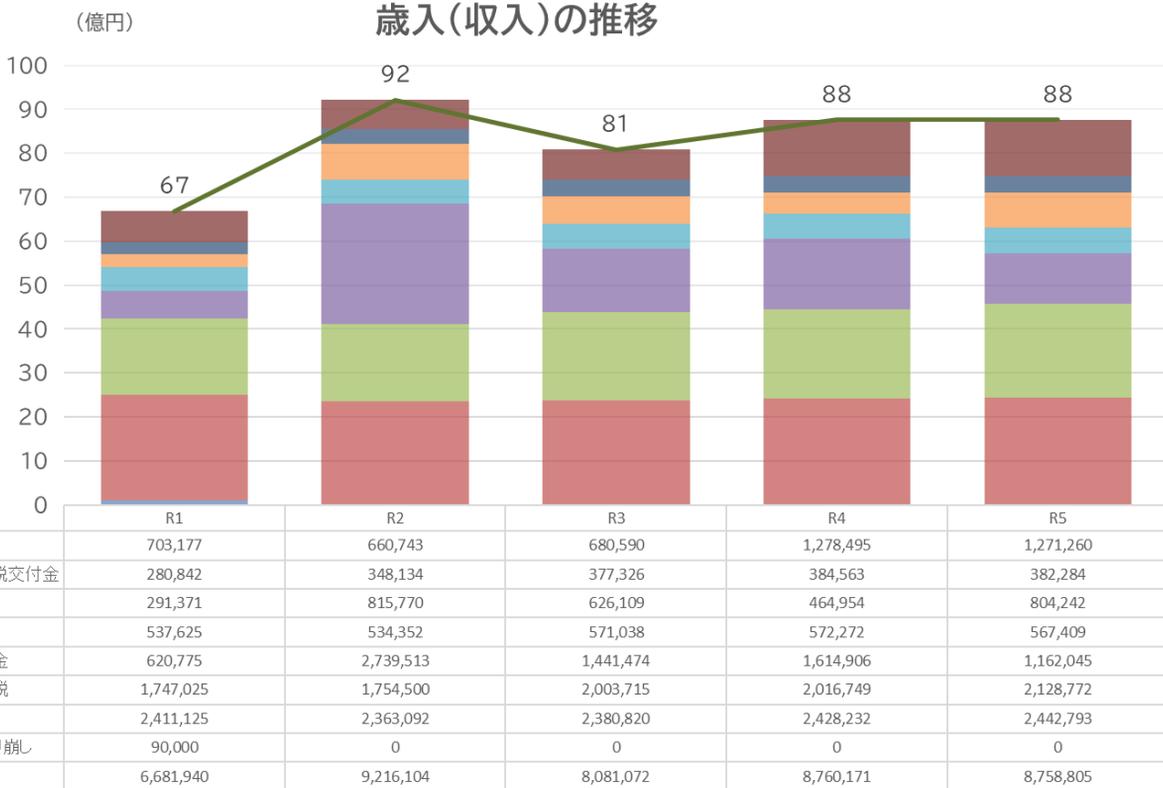
令和5年度の特徴

- ①町税
個人住民税や固定資産税などの増により、町税全体で1,456万円の増となりました。
- ②地方交付税
普通交付税などの増により、前年度に比べ1億1,202万円の増となりました。
- ③国庫支出金
住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業費補助金などの減により、前年度に比べ4億5,286万円の減となりました。

前年度と比較すると、約136万6千円(0.1%)の減となりました。



歳入(収入)の推移



※表は千円単位

用語解説

【一般会計】 教育や福祉、公共施設の整備、役場の運営など、町民の皆さまにとって身近なものに使われる会計

【町 税】 町民の皆さまから納めていただく税金や会社からの法人町民税
【地方交付税】 人口や税収に応じて国から交付されるお金

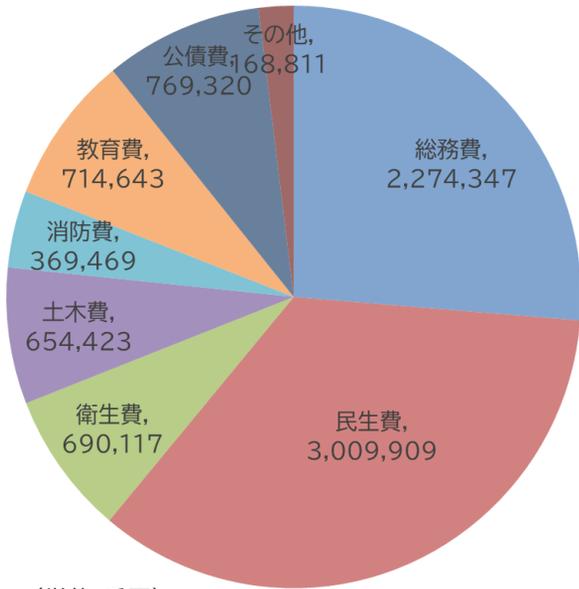
【国庫支出金】 国から交付されるお金(国が用途を特定)

【府支出金】 府から交付されるお金(府が用途を特定)

【町 債】 国や銀行等からの借入金

【基金の取り崩し】 財源不足が発生し、赤字決算となった場合に貯金(基金)を取り崩すこと

②忠岡町の支出(歳出)をみてみよう！(一般会計・目的別)



(単位:千円)

支出(歳出)の合計 86億5,103万9千円

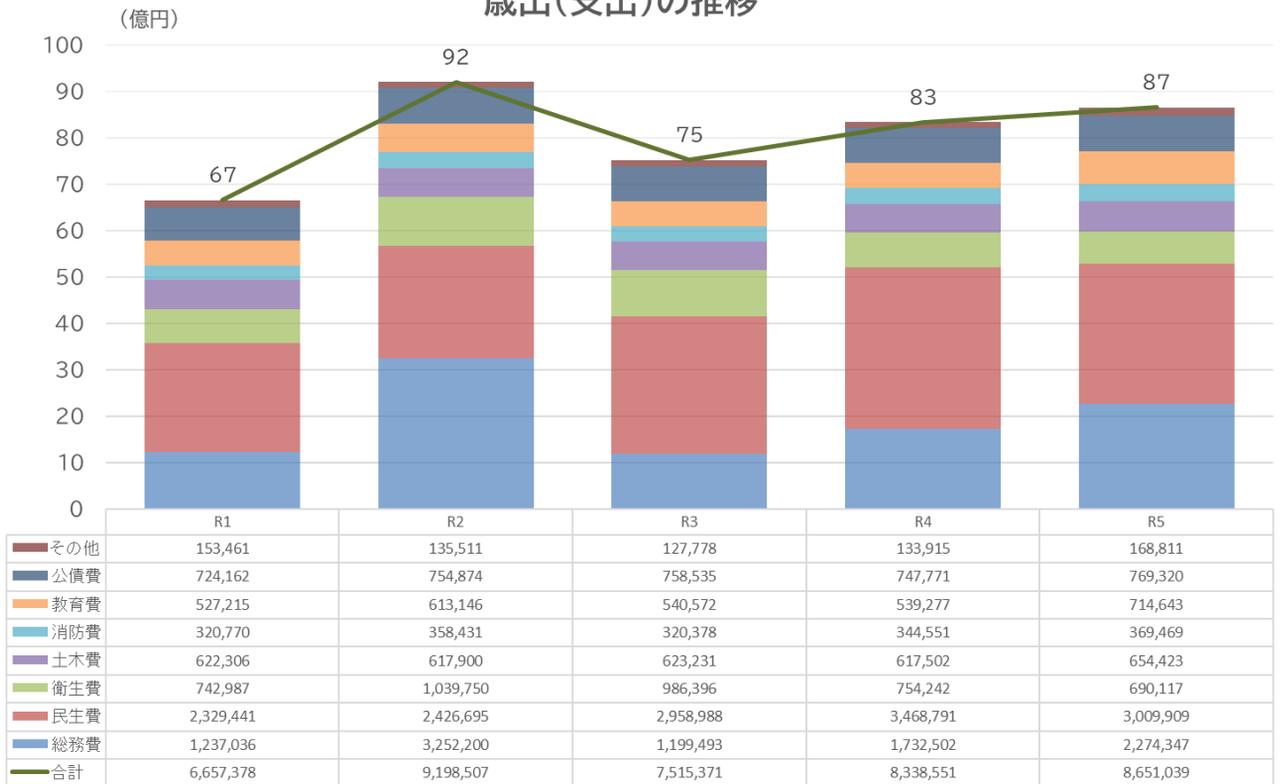
令和5年度の特徴

- ①総務費
シビックセンター等ESCO事業費などの増により、前年度に比べて5億4,185万円の増となりました。
- ②民生費
電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業費などの減により、前年度に比べて4億5,888万円の減となりました。
- ③教育費
町民運動場改修工事などの増により、前年度に比べて1億7,537万円の増となりました。

前年度と比較すると、約3億1,248万8千円(3.7%)の増となりました。



歳出(支出)の推移



※表は千円単位

用語解説

【総務費】 シビックセンターの管理、電算などの費用

【民生費】 高齢者・障がい者福祉やこども園の運営などの費用

【衛生費】 ごみ処理や健康増進の費用

【土木費】 道路や公園などの維持の費用

【消防費】 消防、救急などの費用

【教育費】 文化・スポーツの振興や小・中学校などの費用

【公債費】 借入金の返済費用

③忠岡町の家計簿

決算額を1000分の1に縮小して、Aさん一家の家計簿に当てはめると……

【収入】		【支出】	
		(構成比)	
給料 町税、使用料・手数料	254万円 29.0%	食費 人件費（職員の給料など）	150万円 17.3%
親からの援助 地方交付税、国庫支出金	329万円 37.6%	生活費 物件費、補助費など（公共施設の管理経費や消耗品、補助金などにかかるお金）	206万円 23.8%
兄弟からの援助 府支出金	57万円 6.5%	家族の医療費・教育費 扶助費（子どもや高齢者、障害のある方の福祉などにかかるお金）	158万円 18.2%
借金 町債	80万円 9.2%	借金の返済 公債費（町債の返済）	77万円 8.9%
定期預金の解約 繰入金（基金の取り崩し）	13万円 1.4%	家の増改築 普通建設事業費（道路や学校など施設の建設にかかるお金）	122万円 14.1%
その他 諸収入など	143万円 16.3%	自宅の修理代 維持補修費（町が管理している道路や建物の修理などにかかるお金）	1万円 0.2%
		子どもへの仕送り 繰出金など（特別会計への繰出金など）	99万円 11.5%
		貯金 積立金（財政調整基金への積立金など）	52万円 6.0%
収入合計	876万円	支出合計	865万円



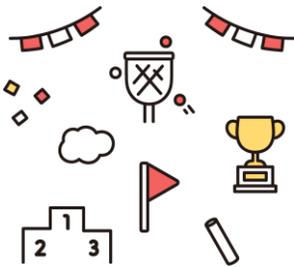
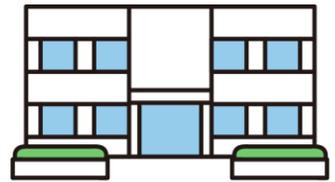
※令和5年度においては大規模な工事を複数実施したことや、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金）活用事業を実施したことなどにより、例年に比べ収入・支出ともに合計金額が大きくなっています。

④令和5年度に実施した主な事業と決算額

シビックセンター等ESCO事業

シビックセンター、消防本部、文化会館、道路灯において、民間企業の資金と専門技術を活用し、設備等の省エネルギー化改修を行いました。

事業費:6億2,001万5千円



忠岡町民運動場改修工事

忠岡町民運動場は昭和40年に整備されてから大規模な改修工事行われておらず、グラウンドの水捌けの悪化、運動場内建築物の老朽化等の問題が発生していたため、改修工事を実施しました。

事業費:2億1,933万5千円

(仮称)東忠岡地区認定こども園整備事業

令和4年度には既存の公立幼稚園と保育所を統合して認定こども園を整備し、今年度は幼児向け広場や子育て支援センターを整備しました。

事業費:2億3,077万6千円



CD-1型消防ポンプ自動車整備事業

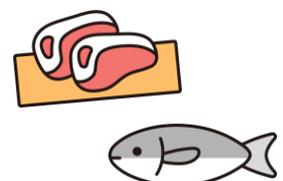
本町消防本部に配置されている水槽付消防ポンプ自動車は、運用から16年が経過し、経年劣化による老朽化が進んだことから更新整備を行いました。

事業費:4,356万円

民間就学前施設給食費補助事業

町内にある民間就学前施設に通う3歳児以上の子どもたちについて、給食費(主食費・副食費)を完全無償化しました。

事業費:1,057万2千円



2.忠岡町の貯金と借金

①忠岡町の貯金(基金)はどれくらい？

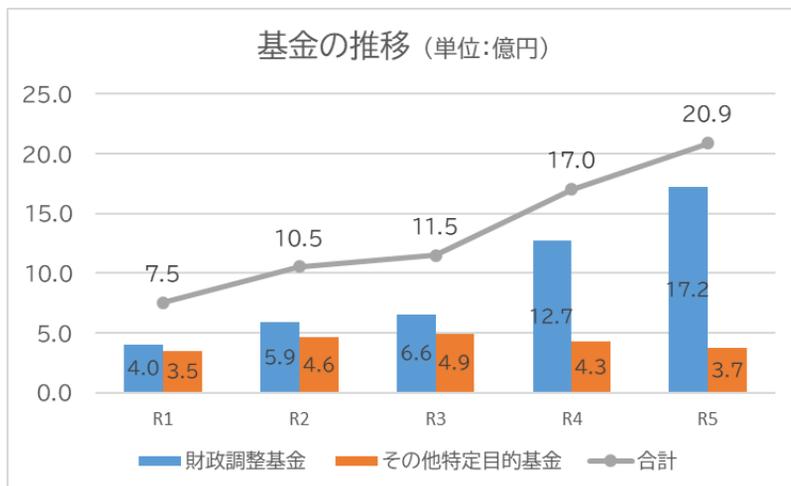
貯金(基金)には、主に**財政調整基金**とそれ以外の**特定目的基金**があります。

財政調整基金とは、財源に余裕があれば積み立て、不足すると取り崩す、家計に例えると貯金にあたるものです。

特定目的基金とは、特定の目的を果たすために計画的に資金を積み立てたものです。

令和5年度末の基金残高
20億9,426万3千円

平成18年度は、貯金が0
だったみたい👏
長い期間をかけて、コツ
コツ積み立ててきたんだね。

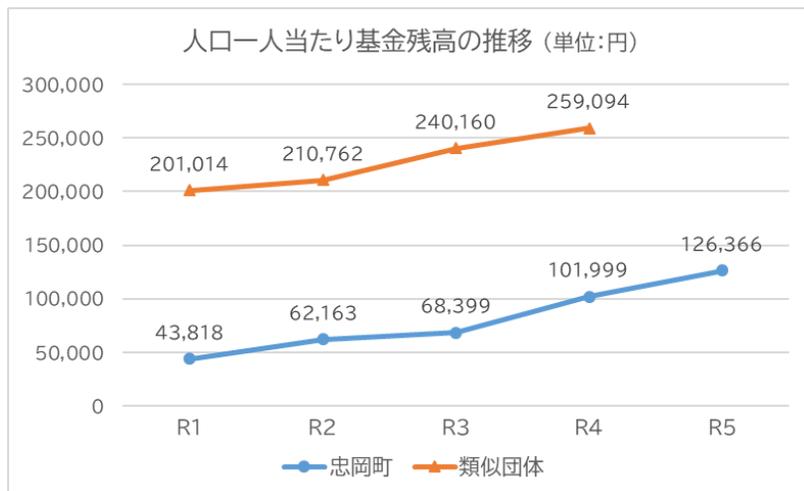


令和5年度は、シビックセンター等ESCO事業や町民運動場改修事業などの実施により特定目的基金を取り崩したものの、主にふるさと忠岡応援寄附金を積み立てたことにより残高は増となりました。

ふるさと忠岡応援寄附金の積み立てなどにより、今後も基金残高は増加していく見込みですが、将来的に公共施設整備事業に必要な経費が増大すると考えられます。

今後も適切な行政運営が可能となるよう、計画的に積み立てを行い、基金残高の増に努めます。

②類似団体と比べてみよう！



貯金が20億円以上！？

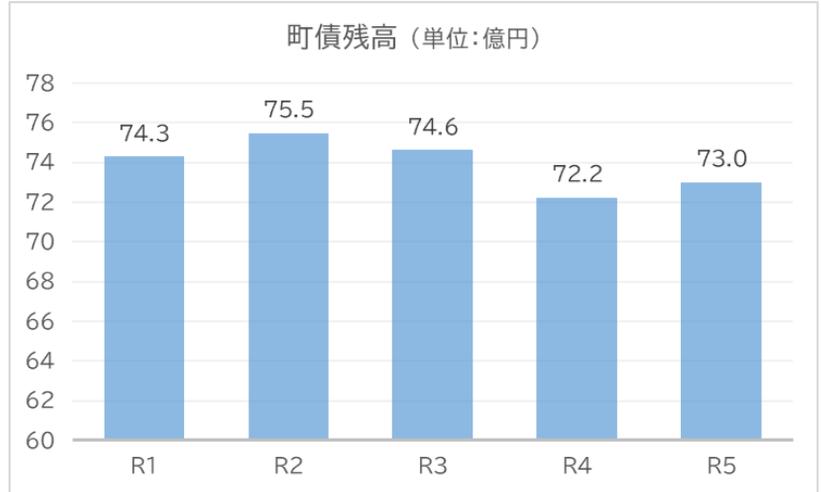
でも、類似団体と比べたら、まだまだ多いとは言えないのか…
ここ数年の推移を見ると、残高は増えていきそうだね。必要なことに活用しつつ、公共施設の老朽化や災害に備えて、この調子でコツコツ積み立てていこう！



③忠岡町の借金残高(町債残高)はどれくらい？

令和5年度末の町債残高
72億9,797万円

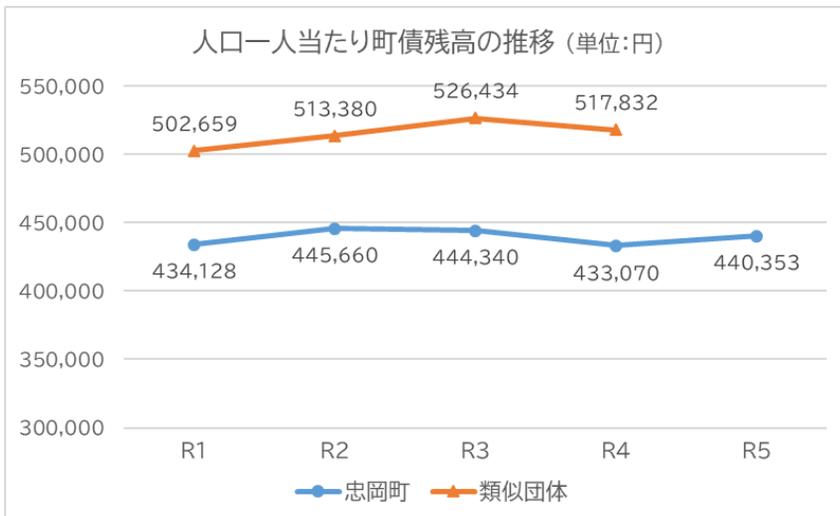
どうして貯金があるのに
借金するんだろう？？



町債とは、町が道路や学校など長期にわたり利用する施設等を建設・改修するために、国や金融機関など外部から借り入れるお金です。

建設した施設等は、現在の住民さんだけではなく、将来の住民さんも利用するため、町債を発行することによりその費用を公平に負担してもらっています。今後も、極端な財政負担が生じないよう、適正な町債の発行に努めます。

④類似団体と比べてみよう！



類似団体より低い数値を
保っています！



【令和5年度に借金(地方債)を発行した主な事業と発行額】

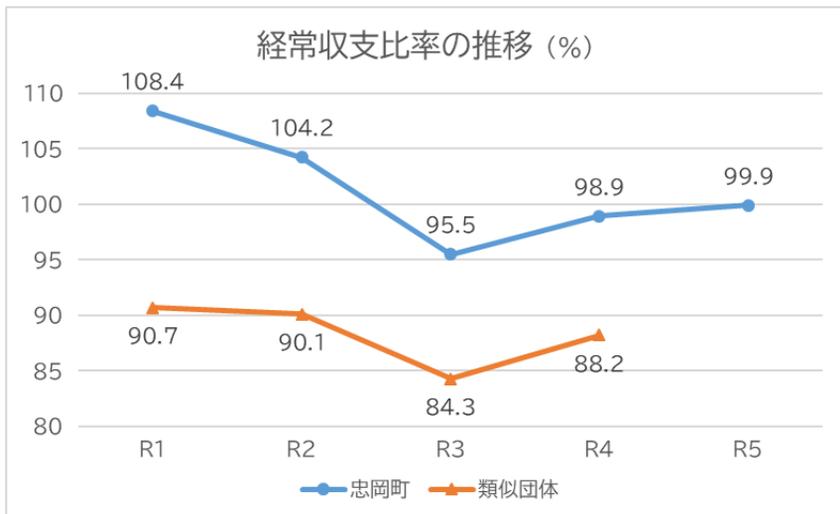
- シビックセンター等ESCO事業(4億4,100万円)
- 忠岡町民運動場改修工事(1億1,560万円)
- CD-1型消防ポンプ自動車整備事業(4,350万円)など

3.忠岡町の財政は健全？

①経常収支比率

経常収支比率とは…

財政構造の弾力性を判断する指標の一つで、法定普通税や普通交付税などの毎年度経常的に収入されるお金が、人件費、扶助費及び公債費のような経常的経費にどの程度充当されているか、その割合によって財政構造の弾力性をみようとするものであり、この割合が低いほど財政構造は弾力性があり、行政運営にとって好ましい状態となります。



この数字は低い方がいいんだね。類似団体より高い状態が続いているなあ…災害時など、緊急でお金が必要な時に使えるお金を増やせるように、経常的な支出の縮減に努めよう！



令和5年度の経常収支比率は99.9%で、前年度(98.9%)と比べ1.0ポイント悪化しました。

その主な理由は、経常収支比率算定式の分母となる経常一般財源等収入において普通交付税が増加したものの、臨時財政対策債が減少したことによるものです。また、経常経費充当一般財源も前年度と比べ大幅に増加しているため、次年度以降、同水準の収入を確保できない、もしくは経費の圧縮がなされなければ、比率は悪化する可能性があり、予断を許さない状況です。

今後の課題は…

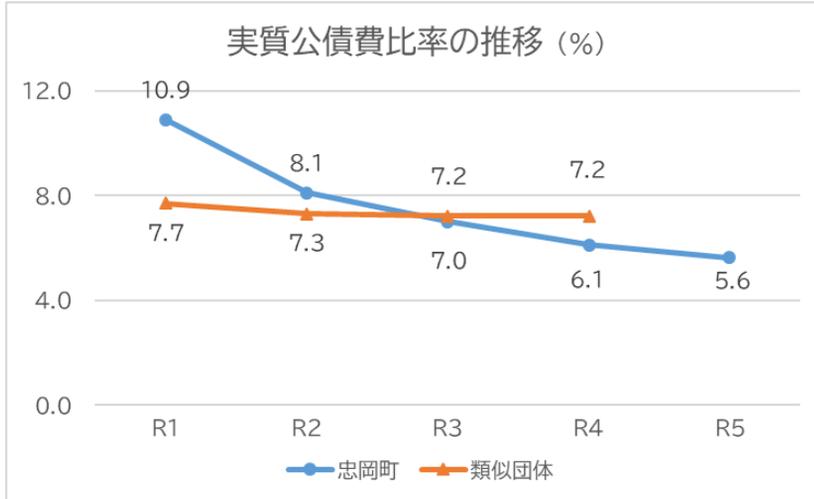


今後は、税金の大幅な増加や新たな収入の確保が困難な中で、公共施設等の維持管理費など歳出の増加が見込まれることから、令和5年度に実施したシビックセンター等ESCO事業(年間で約1千8百万円の光熱水費削減)などをはじめ、経常経費の削減を図ります！

②実質公債費比率

実質公債費比率とは…

一般会計等の年間借金返済額の比率。早期健全化基準(イエローカード)である25%を下回っていればおおむね良好な財政状況と言えます。



ここ数年、数値の改善が続いているね。忠岡町の財政は健全な範囲と言えるんじゃないかな！



令和5年度は、普通交付税が増となったことなどにより比率は改善しました。

建設事業等については、緊急性が高いものを除き、極度町債の発行を抑えているため、比率は改善傾向にあります。

今後の課題は…



今後も引き続き、緊急性・住民ニーズを的確に把握した事業の選択により、過度の財政負担の生じることのないよう町債を発行するなど、実質公債費比率の改善に努めていきます。

ちなみに…

忠岡町は、
早期健全化基準を
すべて下回って
います！

財政健全化法に基づく4つの指標(令和5年度)

区分	忠岡町	早期健全化基準 (イエローカード)	財政再生基準 (レッドカード)
実質赤字比率 一般会計を対象にした赤字の比率	赤字なし	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率 全ての会計を対象にした赤字の比率	赤字なし	20.0%	30.0%
実質公債費比率 一般会計等の年間借入金返済額の比率	5.6%	25.0%	35.0%
将来負担比率 全会計を対象にした将来負担になる借入金の比率	18.0%	350.0%	-